

令和7年度 施策評価シート

基本目標	Ⅲ 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
政 策	320 こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める
施 策	321 消費者から選ばれる魅力ある個店の集積を進める
施策の目標	消費者のニーズに的確に対応するとともに、新たな提案を行うことができ、利用者が「何度も行きたい」と思うような魅力的な個店が集積し、多くの消費者が訪れ、買い物や飲食、サービスを楽しんでいます。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「区内になじみの店がある」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	75.1%	—	—	—	78.0%
実績	—	—	—	—	72.5%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	80.0%
実績	—	—	—	—	

指標名	個店の魅力アップのための取り組み数※R2, R3は新型コロナの影響により事業中止				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	15件	15件	15件	15件
実績	—	18件	17件	15件	0件
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	15件	15件	15件	15件	15件
実績	0件	21件	17件	18件	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
商業者の多様な課題・ニーズに柔軟に対応しながら、個店の魅力向上やPR支援のための取組を進めている。 なお、本施策に係る事務事業（「地域力を育む商業空間づくり推進事業」等）については施策322に関連しており、その比重が施策322の方が大きいいため、当該事務事業の評価は施策322に集約して実施している。	R4	0
	R5	0
	R6	0

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	各事務事業が順調に機能している。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
☐	(1) 優先的に資源投入を図る
☒	(2) 現状維持とする
☐	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
☐	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
目標との大きな乖離は認められず、順調に推移していると判断できるため。	
今後の具体的な方針	
商店街支援や個店支援の充実を図りつつ、効率的な補助金交付に努める。	